

# 6

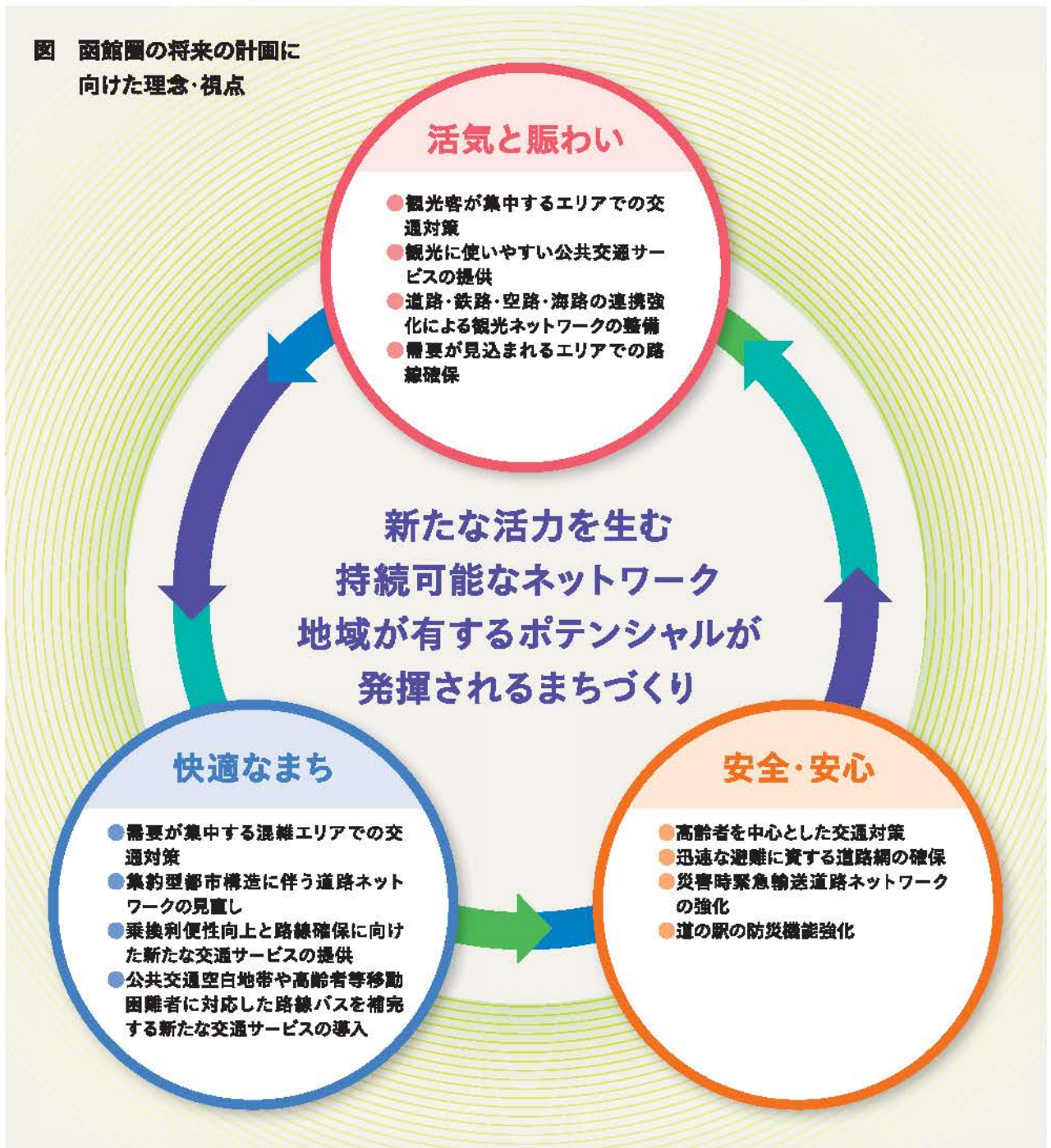
## 函館圏の取り組むべき施策の方向性

### 計画理念・視点

目標年次、令和22年(2040年)までには、自家用車利用への依存、公共交通利用者の減少、事故の危険、観光等の産業を支える交通網、鉄道・空路・海路の道外との交流を支える交通網の必要など函館圏の交通には多くの課題があります。

これらの課題を解決し、持続可能な都市圏を形成するため、「活気と賑わい」「快適なまち」「安全・安心」の3つの視点で取り組みを進めていきます。

図 函館圏の将来の計画に向けた理念・視点



# 7

## 拠点と交通軸の設定



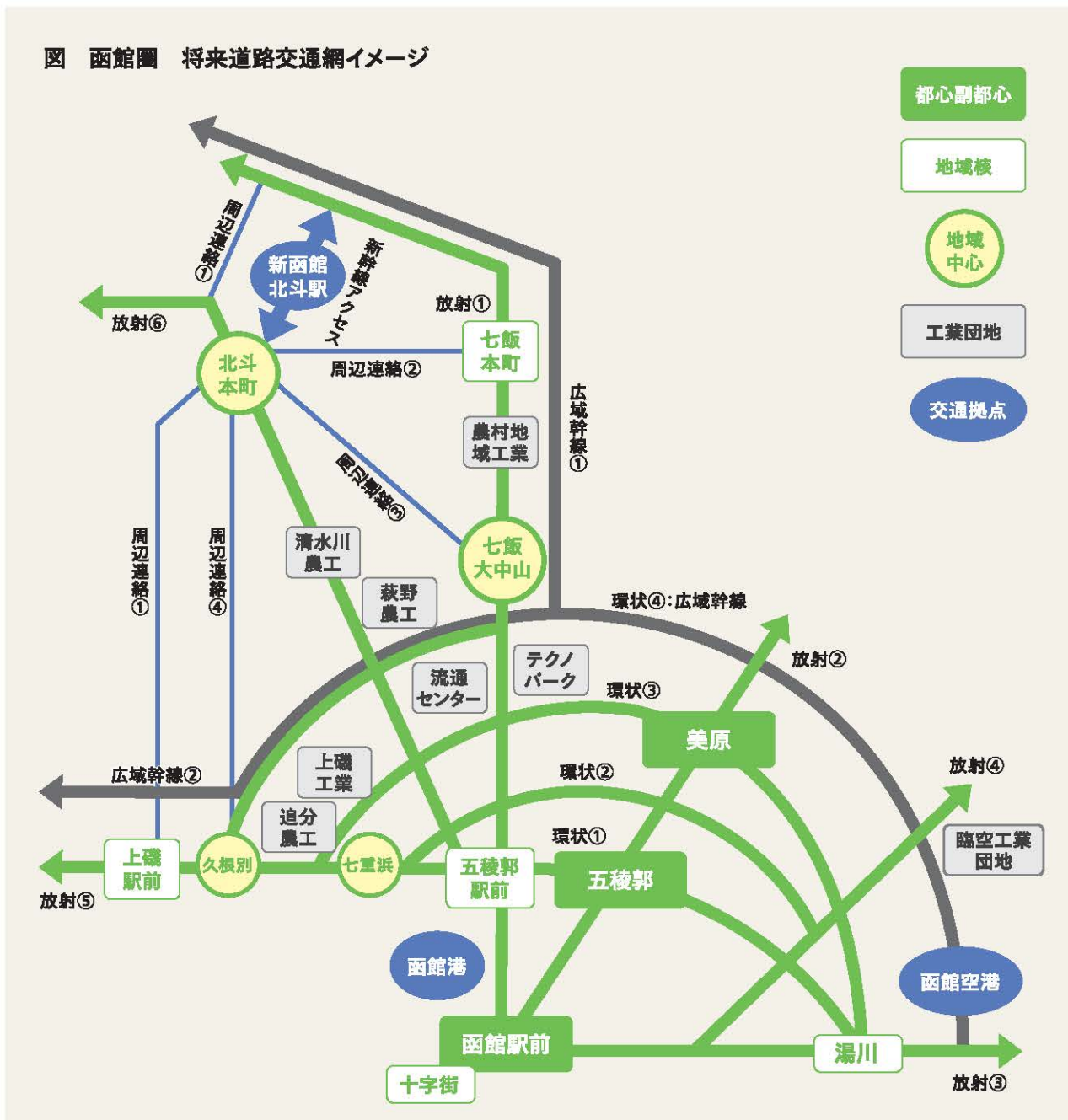
### 函館圏の道路交通網計画

函館圏の目指すべき将来像や取り組むべき施策の方向性に従い施策を展開していくにあたって、将来の函館圏における「拠点」やそれらをつなぐ「軸(ネットワーク)」を定め、それらを中心として施策展開を図っていく必要があります。

既存道路を活用しながら、併せて、高規格道路の整備を進め、将来道路交通網の形成を図ります。

さらに、前回の都市交通マスタープランで設定した『産業連携軸』『観光軸』『生活軸』を見直すとともに、『防災軸』を新たに設定しました。

図 函館圏 将来道路交通網イメージ





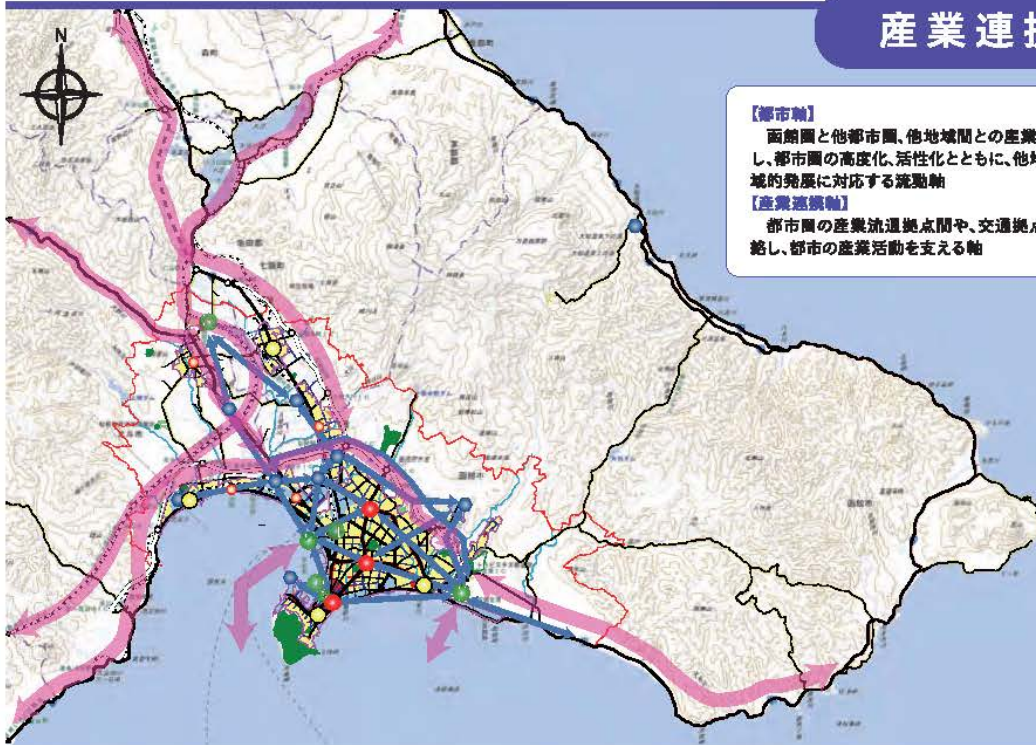
# 8

## 拠点と交通軸の設定

### 拠点と交通軸の概要

- 中心商業拠点**  
大規模商業施設等が  
集積する地域の商業  
の中心となる拠点
- 中核地域拠点**  
日常生活等において  
圏域の中核となる拠  
点
- 地域中心拠点**  
地元商店街など商業  
施設が中心となる生  
活地域拠点
- 交通拠点**  
道内外と圏域を連  
結する各交通手段  
の主要な結節点
- 産業流通拠点**  
圏域の物流や産業活  
動を支える工業団地  
をはじめとする産業  
上の拠点
- ⇄ 都市間軸**  
両圏域と他都市圏、他地域間との産  
業・生活・文化などの交流に対し、都  
市圏の高度化、活性化とともに、他  
地域との連携強化により、広域的発  
展に対応する流動軸
- ⇄ 産業連携軸**  
都市圏の産業流通拠  
点間や、交通拠点およ  
び都市・副都市を連絡  
し、都市の産業活動を  
支える軸

### 産業連携軸

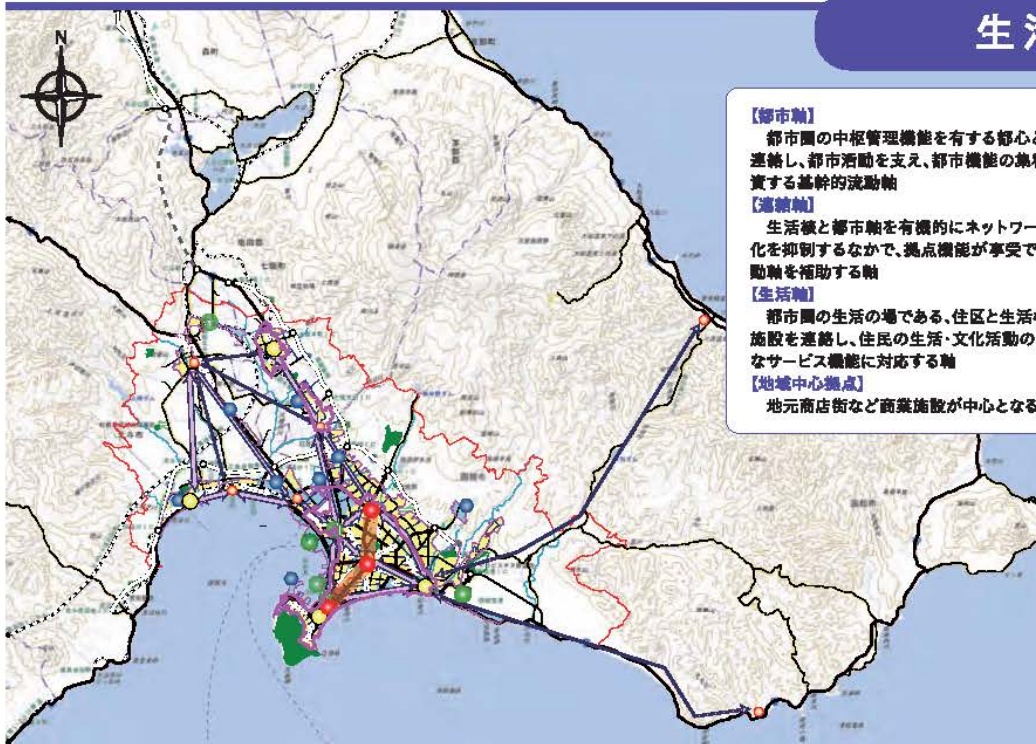


**【都市軸】**  
両圏域と他都市圏、他地域間との産業・生活・文化などの交流に対し、都市圏の高度化、活性化とともに、他地域との連携強化により、広域的発展に対応する流動軸

**【産業連携軸】**  
都市圏の産業流通拠点間や、交通拠点、および都市・副都市を連絡し、都市の産業活動を支える軸

- 高規格道路等
- 主要幹線道路等
- 幹線道路等
- 補助幹線道路等
- 鉄道
- 新幹線
- 主要な河川
- 市街化区域界
- 都市計画区域
- 主たる公園・緑地
- 墓園
- 守るべき緑地・風致
- 住居系用途
- 商業系用途
- 工業系用途

### 生活軸



**【都市軸】**  
都市圏の中核管理機能を有する都市と商業業務中心の副都市を連絡し、都市活動を支え、都市機能の集積及び魅力ある都市形成に資する基幹的流動軸

**【生活軸】**  
生活核と都市軸を有機的にネットワークし、都市軸の機能が分散化を抑制するなかで、拠点機能が享受できるように配置した基幹的流動軸を補助する軸

**【生活軸】**  
都市圏の生活の場である、住区と生活核や主要な教育・文化・福祉施設を連絡し、住民の生活・文化活動の利便性、快適性など基本的なサービス機能に対応する軸

**【地域中心拠点】**  
地元商店街など商業施設が中心となる生活地域拠点



★ 主要観光  
ポイント  
圏域を代表する  
主要な観光地

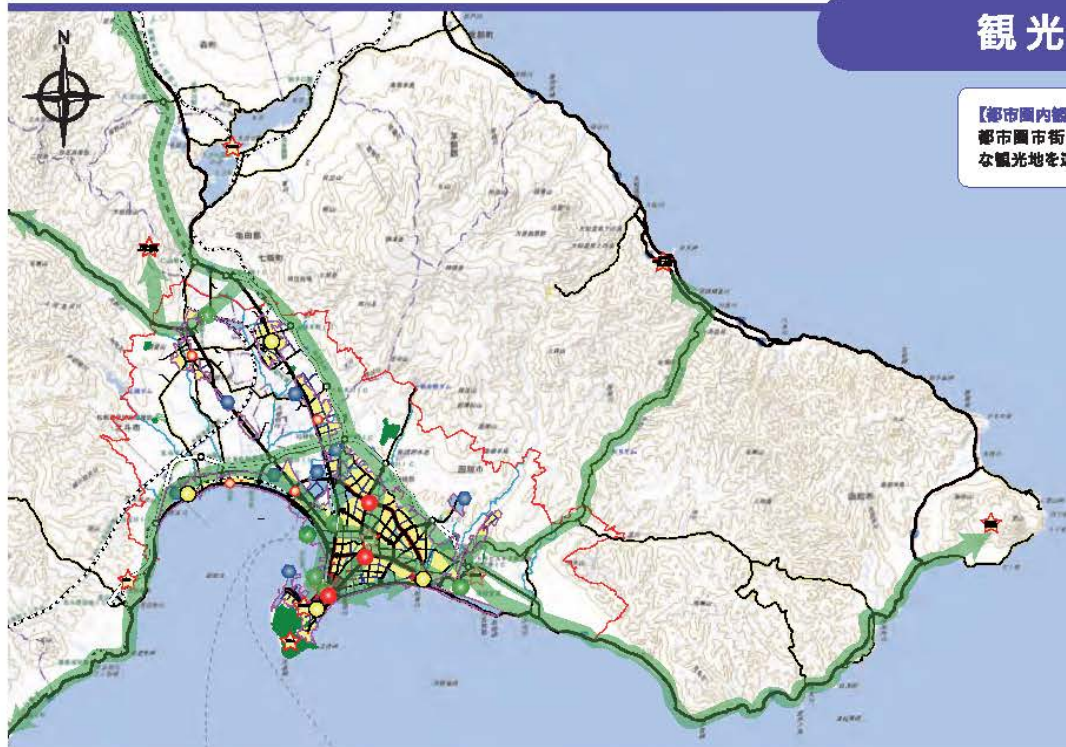
都市圏内観光軸  
都市圏市街地、交通拠点  
と主要な観光地を連絡する軸

都市軸  
都市圏の中枢管理機能を有する  
部心と商業業務中心の副部心を  
連絡し、都市活動を支え、都市機  
能の集積及び魅力ある都市形成  
に資する基幹的流動軸

連絡軸  
生活圏と都市軸を有機的にネッ  
トワークし、都市軸の機能が分  
散化を抑制するなかで、拠点機  
能が享受できるよう配置した基  
幹的流動軸を補助する軸

生活軸  
都市圏の生活の場である、住区と生  
活圏や主要な教育・文化・福祉施設  
を連絡し、住民の生活・文化活動の  
利便性、快適性など基本的なサービ  
ス機能に対応する軸

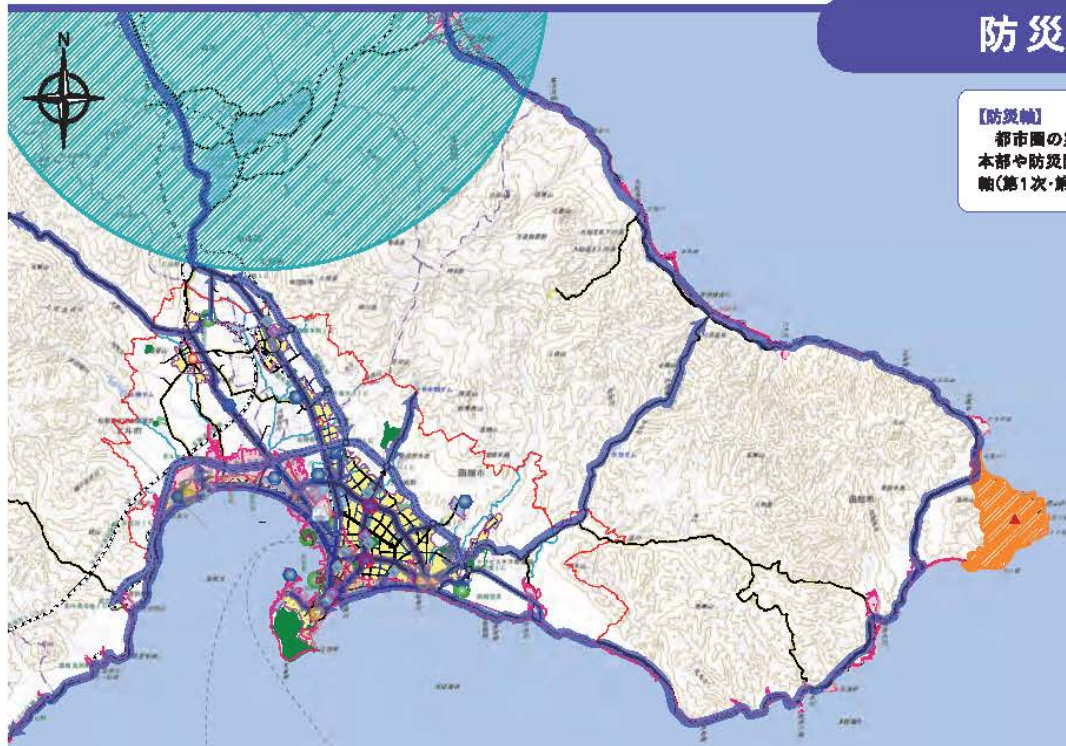
防災軸  
都市圏の災害時における対策  
本部や防災関係機関を連絡する軸  
(第1次・第2次緊急輸送道路)



## 観光軸



【都市圏内観光軸】  
都市圏市街地、交通拠点と主要な観光地を連絡する軸



## 防災軸



【防災軸】  
都市圏の災害時における対策  
本部や防災関係機関を連絡する  
軸(第1次・第2次緊急輸送道路)

- 断崖崩壊火  
危険エリア
- 中～大噴火による  
水蒸気および  
マグマ噴火に伴う  
火砕流の影響範囲
- 津波浸水エリア
- 防災軸
- ◆ 各市町村  
災害対策本部  
及び代替施設
- 防災関係機関



# 9

## 道路交通施策

### 施策 1 需要が集中する混雑エリアでの交通対策

- 広域幹線道路および放射軸・環状軸の機能強化
- 交通需要分散施策
- 都市交通ネットワークの整備
- 渋滞箇所の対策
- 走行性向上に向けた施設の整備

### 施策 2 集約型都市構造に伴う道路ネットワークの見直し

- 集約型都市構造に伴う道路ネットワークの見直し
- ウォーカブル<sup>(用語)</sup>な空間の整備

### 施策 3 高齢者を中心とした交通対策

- 函館市交通安全計画やゾーン30<sup>(用語)</sup>等に基づく取組の推進
- 高齢ドライバー等に対応した道路交通環境の整備
- 運転免許自主返納者へのサポートの充実
- 新たな交通サービスの普及・利用促進

#### ウォーカブルな空間

街路空間を「居心地がよく歩きたくなる」空間へ再構築する取り組み。

函館駅前・大門地区では都市構造再編集中支援事業のもと、都心周辺への居住の誘導を進めるため、新たな居住者のインセンティブを与えるほか、魅力ある居住環境の整備、再開発ビルへの賑わいある市民交流施設の整備、市民が散歩やジョギングを楽しめるとともに気軽に飲食に訪れることができる回遊性を高める道路環境の整備を計画しています。

#### ウォーカブルな空間の整備エリア



資料：函館市

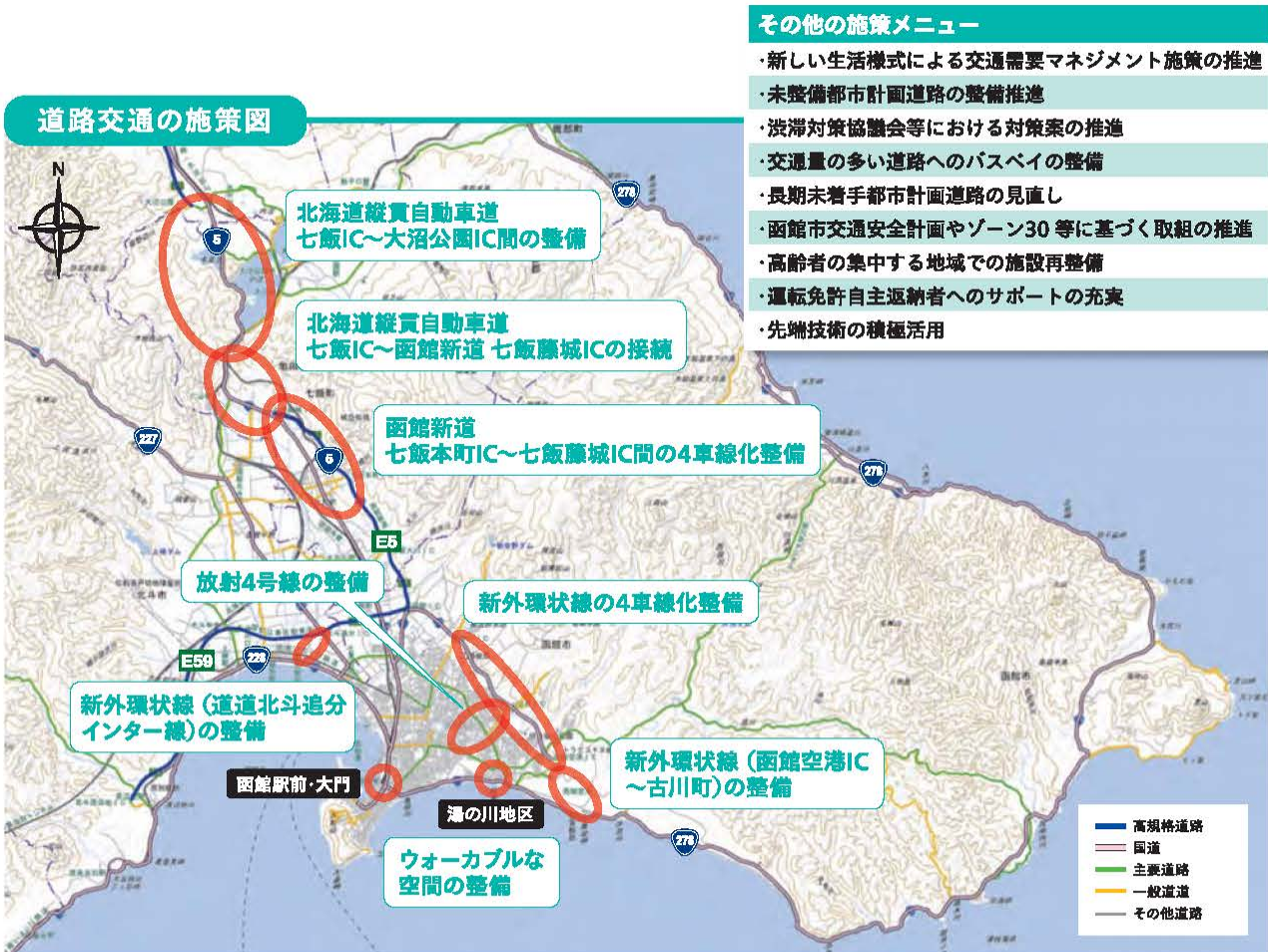


ウォーカブルな空間の整備イメージ



ウォーカブル推進事業事例(長野市中央通り(長野県長野市))

資料:国土交通省



# 10

## 公共交通施策

### 施策 4

#### 需要が見込まれる エリアでの路線確保

- まちに人が出かける施策
- バス路線網再編の推進
- 公共交通利用の転換を促す取組みの検討

### 施策 5

#### 乗換利便性向上と路線確保に向けた 新たな交通サービスの提供

- 北海道新幹線利用を高めるための駅アクセスの充実
- モビリティマネジメント<sup>(用語)</sup>・交通需要マネジメント<sup>(用語)</sup>施策の推進
- 乗換場所の環境改善
- 乗換拠点の結節改善・シームレス<sup>(用語)</sup>化
- JR 駅への早朝・夜間のアクセス向上

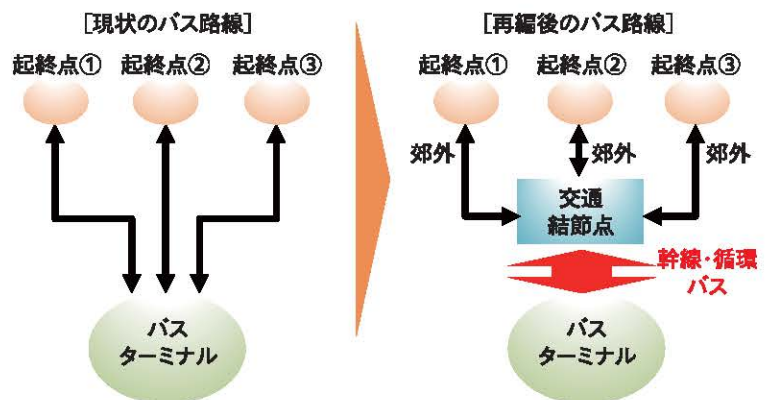
### 施策 6

#### 公共交通空白地帯や高齢者等移動困難者に対応した 路線バスを補完する新たな交通サービスの導入

- 公共交通空白地帯におけるデマンド型交通等の導入
- バリアフリー<sup>(用語)</sup>対応車両の導入推進
- 待合環境のバリアフリー化

#### ゾーンバスシステムのイメージ

長くて複雑なバス系統を整理して、途中に拠点を設け、市街地までの基幹バスと末端部の支線バスとに分けることにより、定時性の確保と車両の効率的運用を図るバス運行の仕組み。





## 北斗市の巡回ワゴン



資料:北斗市

## ゾーンバスシステムの活用・推進(バスターミナル活用等)



函館市 美原地区路線バス乗降場(R3.4供用開始)

